

としょかん

いわて

岩手県立図書館報

《特集》

手作り絵本教室

- バリアフリー映画を身近なものに
- レファレンスコーナー
- 児童コーナー わかば通信
- 岩手県内図書館紹介
- 図書館掲示板

2020.3

No.186

contents

目次

ページ

01

特集

手作り絵本教室

- ・北上市立中央図書館「手作り絵本教室」の事例
- ・手づくり絵本の作り方

12

バリアフリー映画を身近なものに

- ・バリアフリー映画上映サポートの紹介

14

レファレンスコーナー

- ・「わんこそば」に似た風習が北陸地方にもあると聞いたけど本当？
- ・盛岡藩関連の史料に「畑高」という言葉が出てきた。畑の石高を「畑高」というようだが、畑で米はとれない。どの作物の収穫量で「畑高」を決めているのか。

16

児童コーナー わかば通信

赤ちゃん向けおはなし会 よみきかせデビュー

17

岩手県内図書館紹介

- ・岩手保健医療大学図書館

18

図書館掲示板

- ・第60回 岩手の読書週間
読書推進標語・手づくり絵本入賞者、読書推進運動功績者



特集：手作り絵本教室



岩手県読書推進運動協議会では、毎年秋の「読書週間」に合わせて、手づくり絵本を募集しています。県内各地から応募いただいた作品は、毎年2月の「岩手の読書週間」に合わせて開催している「手づくり絵本展」で展示し、その後、県内の希望する図書館を巡回展示しています。巡回先の図書館の中には、手づくり絵本教室を実施している図書館もあります。

今回の特集では、多種多様にある手づくり絵本の作り方の一例を、昨年7月～8月にかけて北上市立中央図書館で行われた手作り絵本教室の内容を基に、分かりやすいようにご紹介します。

今後図書館等で手づくり絵本の催事を手掛ける機会がありましたら、ご参考の一つとなれば幸いです。

北上市立中央図書館

「手作り絵本教室」の事例

募集の内容

令和元年の北上市立中央図書館の「手作り絵本教室」は、以下の内容で参加者を募集しました。

日程：<全4回>

令和元年 7月 7日（日）

7月 15日（月・祝）

7月 30日（火）

8月 9日（金）

時間：各日 9時15分～12時

講師：岩手県立図書館 指定管理者

副総括責任者 姉帯 裕子

場所：北上市立中央図書館 視聴覚室

対象：4回講座を受講できる方（小学校低学年までの子は、必ず保護者同伴）

定員：10組（多数の場合は抽選）

申込は好評で、定員の10組を超えたため、抽選となりました。日程を夏休みと重ねたことが要因の一つかもしれません。受講者のほとんどが小学生でした。

対象を全4回受講できる方としましたが、長期の開催日程となると、どうしても予定が変わって参加できなくなる受講者もいました。その場合には、教室の初日に手づくり絵本の工程を説明しておき、見本をお見せして、自宅で製作してもらうようにしました。

時間設定についても、受講者が熱心に取り組んでいたため、日によっては終了予定時間を過ぎてしまうこともありました。

開催までの準備

北上市立中央図書館の職員1名、岩手県立図書館から講師1名、併せて2名で対応しました。

北上市立中央図書館の職員さんには、事前に見本をお渡ししておき、当日もお手伝いいただきました。当日までに、勉強のために見本を基にご自身で実際に製作してみたそうです。

募集期間中は、会場となる北上市立中央図書館内で、手づくり絵本の見本とともに、絵本づくりの参考となる関連図書を一緒に展示していただきました。貸出に繋げつつ教室の宣伝になりますし、実際にどんなものを作るのかが見て分かります。

会場は、1名につき長テーブル1台あれば余裕をもって作業が出来ます。中には、兄弟で1台のテーブルで作業する子どもたちもいました。さらに別の作業が出来るように、予備のテーブルを数台用意しておきました。

開催当日の所感

受講者は皆さん明るく、楽しみにしてくださっているのがとても良く伝わってきて、教えるほうも楽しくなりました。

しかし、手づくり絵本の製作には長い時間がかかります。開催時間を1日3時間程としましたが、休みなしでは大人も子どもも途中で疲れてしまい集中力が切れてしまいますので、およそ1時間おきに休憩を挟みました。

また、自分の作品へのこだわりは人それぞれです。「本のサイズを自分の希望するサイズに変更したい」という要望があったり、長期日程で製作を進めていると、進み具合に個人差が出てきたりと、様々な状況に対応していくのはなかなか大変でした。

教室では「糸綴じ」と「のり貼り」の二種類の製本方法を紹介しました。糸綴じは折ったり重ねたりするため、どの面が何ページになるかが分かりづらく、綴じる前に絵を描くのは大人でも難しいようです。貼り合わせ製本の方は簡便な作りで

あり、乳幼児が描いた絵なども切り貼りして製本出来るので、受講者の幅が広がると思います。

教室終了後には、「また作りたい」という声が多くありました。手づくり絵本は、工作物とは違い、おはなしの内容が変われば、形態が同じでも全く違うものができ、また、もっとこうすれば良かったという気持ちも出てくるので、もう一度作りたくなるようです。作るたびに、本当に世界にたった1冊だけの、貴重な本になります。

本棚に並べてしまえば場所をとらない、それなのにページを開くと豊かな世界が広がっていく…。それが、手づくり絵本の面白さだと思います。また、後々まで保存しやすいのも魅力です。保護者と子どもにとっては、大人になってから見返したときの楽しみや思い出にもなると思います。

受講者の中には、完成した作品を、岩手県読書推進協議会で実施している手づくり絵本の募集に応募した方もいました。さらに、受賞された方もいらっしゃいます。手づくり絵本教室は、図書館と本に親しみを感じてもらうきっかけになります。次のページから絵本の作り方や教室の進め方を紹介しますので、開催の参考にいただければ幸いです。

(編集部)

北上市立中央図書館

担当職員 老林 優希さん

「手作り絵本教室を終えて」

北上市立中央図書館では初めての試みとなる手作り絵本教室を開催いたしました。中学生以下の親子10組が参加し、皆、思い思いの作品を仕上げていました。

中でも印象深かったのは、なかなか良いお話が思い浮かばず、下書きを何度も何度も消しゴムで消しては描く子どもたちの姿でした。また、表紙や見返紙の色を決めるときも納得がいくまで見比べる姿からは、妥協を許さない真剣さが伝わってきました。

子どもの読書離れが叫ばれている今、実際に絵

本を作ってみる体験をとおして、本への愛着や親しみを持ってもらえれば図書館員としても喜ばしく思います。

この絵本を作る試みは、子どもだけではなく大人の方からも好評をいただいています。来館者からは、「大人向けの絵本教室はないの？」とお問い合わせをいただくこともありました。今後、幅広い年齢層で絵本作りを体験していただけるよう対象の幅を広げていければと考えております。



下書きをしています。



表紙の紙に台紙を貼っています。



本文に「合わせのり」を塗っています。

手づくり絵本の作り方

手づくり絵本の作り方について、北上市立中央図書館で開催した「手作り絵本教室」の進め方を基にして、分かりやすいようにご紹介します。

形と大きさ

絵本には様々な形や大きさがあります。北上市立中央図書館の教室では、A4 サイズを基本としました。ここでは、A4 に合わせた大きさでご紹介していきます。

綴じ方

手づくり絵本の製本方法は多種多様にあります。これまでの経験から、初心者向けにはのりで貼り合わせる綴じ方が、絵を描く際も製本する際も理解しやすかったことから、ここでは、貼り合わせ製本の工程をご紹介します。

綴じの向き

右綴じ、左綴じについて説明しておく必要があります。見本として市販の絵本をそれぞれ用意して、現物を使って説明すると理解してもらいやすいです。右綴じは、本文が縦書きで絵は右から左へ進行します。左綴じは、本文が横書きで絵は左から右へ進行していくのが基本です。

図書館が用意する物

■材料



・表紙の紙

四切×1枚。教室では、主にレザックを使った。文房具店等で色や紙質を様々用意すると、選ぶ楽しみがある。ただし、迷う子どもが多いため時間が必要となる。

・表紙の台紙

A4×2枚と、背表紙の分。ボール紙がおすすめ。官庁表紙や丈夫な菓子箱でも強度は弱い代用可能。ただし段ボールのように間に空間があるものは不可。

・見返しの紙

A3×2枚。教室では色画用紙を使った。

・本文の紙

A3×10枚。枚数は受講者が描きたい枚数で良いが、材料費を頂く場合は枚数を同じにした方が良い。なお、市販の絵本は見開きで15場面が基本。教室では画用紙を使った。

■道具



- ・鉛筆
- ・消しゴム
- ・カッター
- ・カッターマット
- ・定規
(カッターの刃で削れないように金属製がおすすめ)
- ・寒冷紗
(クラフト紙や和紙などの薄くて丈夫な紙でも代用可能。補強用なので、省略も可能)
- ・木工用ボンド
- ・でんぶんのり
- ・刷毛
- ・パット
- ・裁縫用のヘラ 又は 角ベラ
- ・竹ひご
- ・輪ゴム
- ・目玉クリップ
- ・捨て紙
(コピー用紙の包装紙やブックカーの剥離紙、クッキングシート等、のりやボンドでくっつかないものが良い)

※その他、のりとボンドを混ぜ「合わせのり」を作るために、料理用のボウル (入れる)・泡立て器 (混ぜる)・ゴムベラ (掬う) も使いました。

参加者が持参する物

忘れてくる参加者のために、図書館でも用意出来ると安心です。

- ・タオル
手やボンド等を拭くもの。濡れたり汚れたりするため、ジップロックに入れて持ち帰ることをおすすめしている。
- ・エプロン
- ・色を塗る画材
受講者が描きたい画材が良い。油性色鉛筆、水性色鉛筆、水彩絵の具 (絵の具は、筆・パレット・筆洗も必要)、アクリル絵の具、クレヨン (ただし、ページを閉じたときに色が写ってしまう)、クレパス、パステル、カラーインク等。

■教室1日目 おはなしづくり

はじめに、教室の日程と手づくり絵本の製作工程を説明しました。

それから、おはなしづくりに入ります。

受講者には開催日より前に、製作工程をまとめた資料を配布しておきました。そうしたところ、中には開催当日までにおはなしを考えてきている受講者もあり「作りたいんだ」という気持ちがとても良く伝わってきました。

■起承転結を知る

おはなしの基本、起承転結について説明をしました。

【起】 … キャラクター、場所を紹介する。
「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」

【承】 … 状況、出来事を伝える。
「だれが」「だれと」「どうした」

【転】 … 出来事に変化が起きる。盛り上がる
ところ。
「あらたなじんぶつがでてきた!」「あたら
しいちからをてにいれた!」

【結】 … 出来事がまとまる。
「かいけつした」「しあわせになった」「お
もいでにのこった」

■キャラクターとテーマを決める

次に登場するキャラクターを考えてもらいました。人、動物、あるいは物かもしれません。あわせておはなしのテーマも考えます。どちらが先でも構いません。

自分ではなかなかテーマを決められない受講者のために、少しでもヒントになるよう、以下のようなテーマを用意しておきました。

- ・おもしろいおはなし
- ・こわいおはなし
- ・ヒーローがでてくるおはなし
- ・むかしばなし

テーマの例を用意するときには、受講者が刺激を受けて想像が膨らむように、絞りすぎないのがポイントです。また、受講者と会話をしながら物語を作っていくのも良いと思います。この場合は、質問しながら子どもから発想を引き出していくことを心がけます。

■おはなしを作る

アイデアが浮かんだら、メモやノートに書き出していきます。おはなし全体の計画が立てやすいように、絵コンテを配布しました。必ずしも使わなくても良いですが、書いてみると、文と絵の流れが掴みやすくなります。

文と絵が一緒に思いつくと理想的ではありませんが、絵をもとに場面展開していく場面先行型と、文を先に書き上げてから絵を割り振っていく文章先行型という方法もあります。教室ではみなさん文章先行で進めていましたが、これは受講者の作りやすい方法で良いと思います。

子どもへのアドバイスの仕方

受講者が子どもの場合は、大人は聞き役に回り、肯定することに徹して、「こうしたら」などのアドバイスはしすぎないほうが良いようです。

悩んでいる子どもには、出来ていることをほめてあげること。ほめられると認めてもらえた安心感を持ち、安心して困っていることを話しやすくなるようです。

自分の経験則で否定したり誘導したりはしないこと。子どもがこちらの予測外のことを考えてくれるのも面白いものです。

また、良いものを作らせようとして欲張りすぎないこと。失敗も経験だと思えます。保護者と話してもらいながら作っていくのも良いコミュニケーションになります。

教室2～3日目 ほんもん 本文づくり

■下書きと着色

本文の画用紙に、おはなしの筋に沿って絵を下書きします。その後、受講者の選んだ画材で着色してもらいます。ここは受講者それぞれの進行状況によってどんどん進んでいきます。

■ページを貼り合わせる

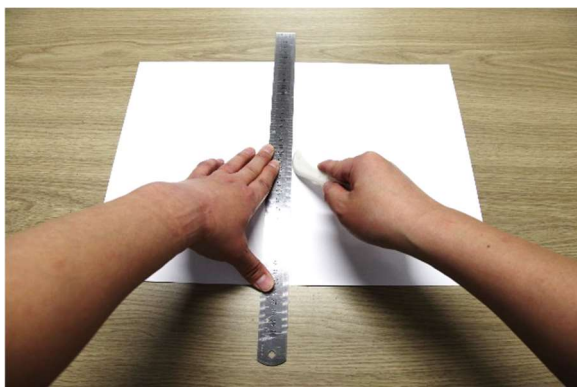
文と絵をすべて描き上げたら、絵を描いていない面を合わせのりで貼り合わせていきます。

教室では、木工用ボンドとでんぷんのりを1：1で混ぜて使いました（水も少々足すと塗りやすくなります）。部位によって比率を変えて、強度を調整する方法もあるようです。木工用ボンドを多くすると強度が出て、でんぷんのりを多くすると可逆性が出ます。

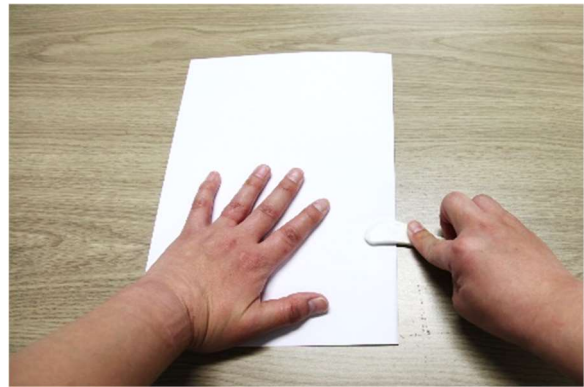
①合わせのりを作ります。



②定規とヘラを使って、画用紙の真ん中（ノド）に筋を入れます。



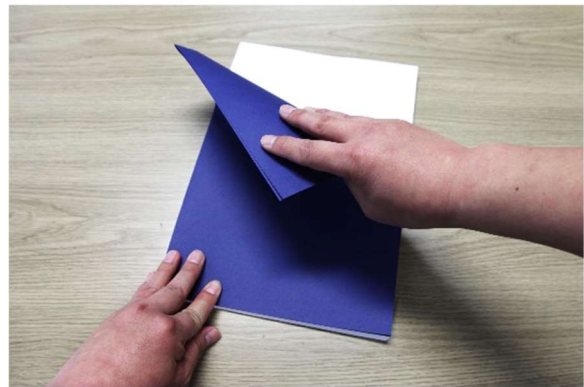
③絵が内側になるように折って、ヘラの平らな部分でなぞります。



④全て折ったら、本文の紙をページ順に重ねます。

⑤見返しの紙を真ん中で半分に折って、ヘラの平らな部分でなぞります。

⑥見返しの紙を本文の最初と最後のページに重ねます。



⑦ノドを下にしてテーブルにトントンとあてて、全てのページをノド側にきれいに揃えます。

⑧小口側を目玉クリップでとめます。



- ⑨捨て紙を敷き、本文の下のページから、裏に合わせのりを塗り、全てのページを貼り合わせていきます。(内側から外に向かって塗ると良い)



- ⑩小口側の目玉クリップを外し、次は、ノド側を目玉クリップでとめます。

- ⑪ ⑨と同じように、小口側にも合わせのりを塗ります。

- ⑫全てのページを貼り終わったら、はみ出した合わせのりを、一度濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ります。

- ⑬目玉クリップを外して、全てのページに新しい捨て紙を挟みます。



- ⑭捨て紙を挟んだまま、テーブルなどの平らな場所で辞典や図鑑などの重い本を乗せて乾かします。(水分による紙のヨレをなくし、しっかり貼り合わせるため)



- ⑮重しを外し、乾いていたら捨て紙を外します。

- ⑯天・地・小口部分を2mm程度断裁機やカッター等で切り落とします。



- ⑰本文の背の中心に、寒冷紗を貼ります。



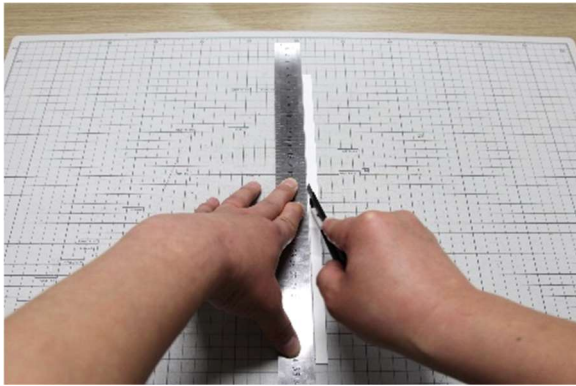
これで、本文の出来上がりです。

※講座ではすぐに本番に入りましたが、その前にラフを作っておくと、仕上がりをイメージしながら何度でも手直しが出来ます。紙はコピー用紙等簡易なもので良いです。綴じ方は本番と同じように貼り合わせです。

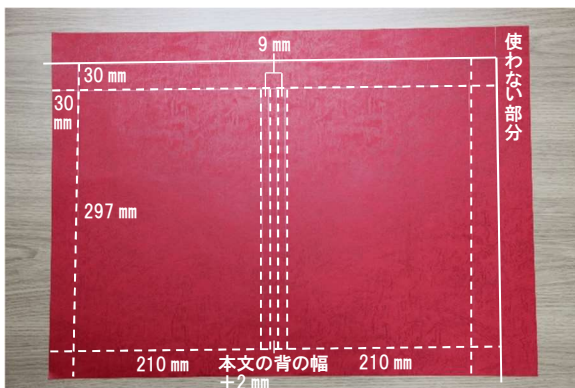
教室4日目 表紙づくり

■表紙を作る

- ①本文の背の厚さに2mm足した幅で、背の台紙を用意します。



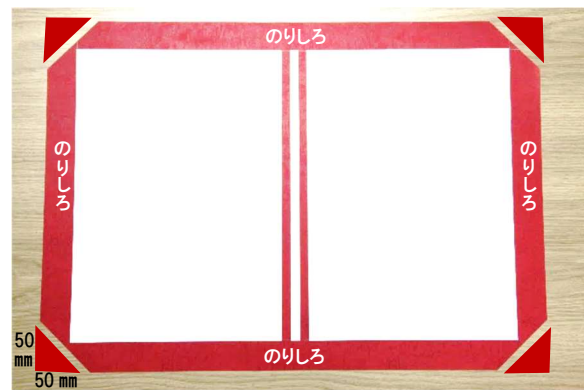
- ②表紙の紙の裏に、台紙を貼る位置に鉛筆で線を引きます。



- ③折りやすいようにヘラで、②で引いた線をなぞります。



- ④表紙の紙の四隅を三角に切り落とします。



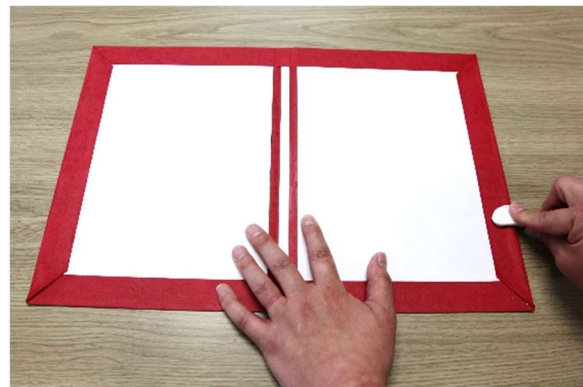
- ⑤台紙に引いた線に合わせて、表紙を合わせのりで貼ります。

- ⑥長い方ののりしろを、合わせのりで貼ります。

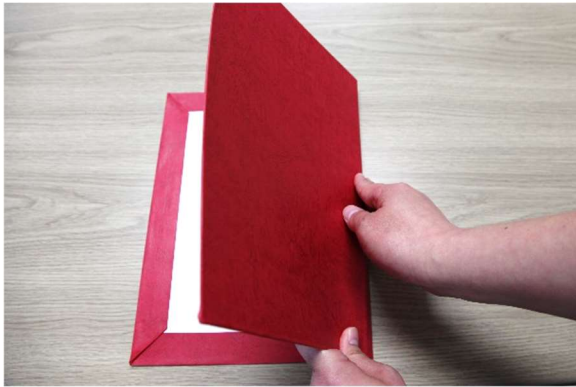
- ⑦四カ所の、のりしろの余った部分を内側に折って、合わせのりで貼ります。



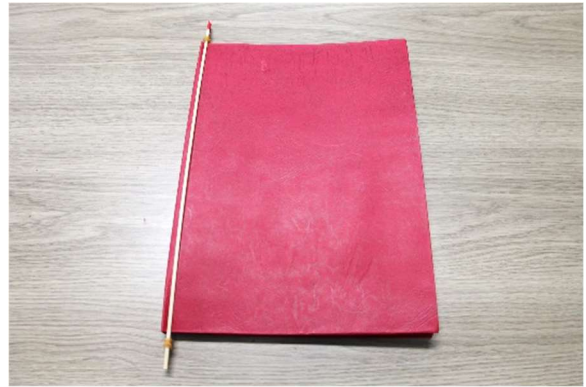
- ⑧短い方ののりしろも、合わせのりで貼ります。



⑨背を抑えながら折り曲げて、折り目を付けます。

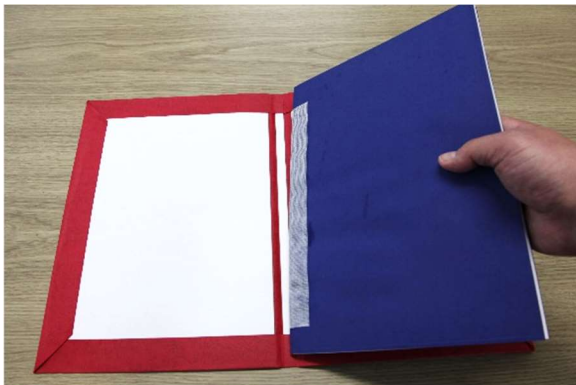


⑩竹ひごを両方の溝に当て、輪ゴムで押さえます。



■表紙と本文を貼り付ける

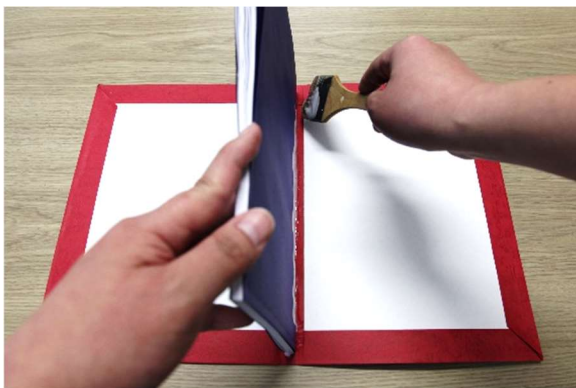
①表紙の背に合わせのりを塗り、本文の背を貼ります。



②捨て紙を見返しの下に挟み、見返しの裏に合わせのりを塗ります。



③表紙の背の両側の溝の部分に合わせのりを塗ります。



④表紙を閉じて、1日程度重しをのせます。



⑥重しを取り、製本の状態を確認します。

これで、手づくり絵本の完成です。

■完成後

受講者全員が完成した後に、参加者で発表会が出来ると思います。達成感も出ますし、他の受講者の絵本を見るのも勉強になります。次の創作意欲にも繋がるかもしれません。

参考資料

『かんたん楽しい手づくり本 1～3』

水野 真帆 作 / 岩崎書店 / 2011.12

『絵本をつくりたい人へ』

土井 章史 著 / 玄光社 / 2018.9

バリアフリー映画を身近なものに

～～バリアフリー映画上映サポートの紹介～～

バリアフリー映画とは、視覚や聴覚に障がいのある方にも映画を楽しんでいただけるように、視覚障がい者向けの「音声ガイド」や、聴覚障がい者向けの「字幕」が付いた映画のことです。

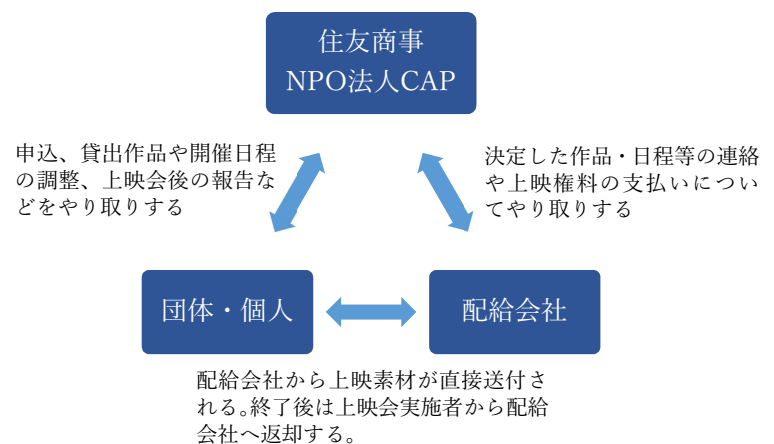
県立図書館では、視覚や聴覚に障がいのある方への理解を深めてもらうことや、障がいをお持ちの方に映画作品を楽しんでいただくことを目的に、2016年から毎年、このバリアフリー映画の上映会を行っております。このページでは県立図書館が利用している「バリアフリー映画上映会」のサポートの仕組みをご紹介します。障がい者理解の促進も期待できますので、皆さんの館でもバリアフリー映画の上映を通じた障がい理解の促進などを検討なさってみてください。

1 利用しているサポートの仕組み

住友商事が社会貢献活動の一環として取り組んでいる、バリアフリー映画普及のための支援活動「バリアフリー映画上映サポート」（事務局：NPO法人シネマ・アクセス・パートナーズ [略称 CAP]）を利用しています。

この仕組みでは、配給会社への上映権料の支払いなどを住友商事が担っています。これにより上映権料の負担なく、上映会を開催することができます。

上映会を希望する団体・個人、住友商事及びNPO法人CAPと配給会社の間では右図のようなやり取りが行われています。



2 利用の条件

この仕組みの利用には、次のような条件が定められています。

- (1) 非営利での上映会のみ対象とする（チャリティ上映会は除く）。
- (2) 1主催者につき、1年に1回、1作品とする。
- (3) 申し込み書類の請求、手続きは主催者が行なう（転送不可）。
- (4) 参加者数は20名以上を目安とする。 ※見込み数（申込書）と実際の入場者数（報告書）が大きく食い違わないこと。
- (5) ポスターやチラシが必要な場合は主催者が作成する。
 - a. 但しインターネット等からの画像やロゴの転載は不可（見込み51名以上の場合、画像データの貸出が可能な作品もある）。
 - b. 「協力：住友商事」と記載する。
- (6) 地域の障がい者団体等へも告知を行なう。
- (7) 日本語字幕と音声ガイドの両方を付けて上映する。
- (8) 会場全体や参加者の様子がわかる写真データを報告書に添付する（但しプライバシーに配慮の上、住友商事ホームページに掲載しても問題のないもの）。

(9) 配給会社との手続き一切は、上映サポート事務局に一任する。

それほどハードルが高い条件ではないと思います。上映サポートの目的がバリアフリー映画の普及や、上映会を経験した団体・個人のサポート無しの自立などにあるため、最低限の条件になっているようです。

3 県立図書館での実施状況

これまでに県立図書館主催として4回、アイーナに同居している岩手県立視聴覚障がい者情報センター主催（会場は県立図書館ミニシアター）として4回、計8回実施してきましたが、いずれの回も多くの方に参加いただきました。参加者が県立図書館ミニシアターの定員いっぱいになる回もありました。

日付	主催	タイトル	参加人数
2016/7/17	図書館	博士の愛した数式	45 (2)
2016/11/20	センター	武士の家計簿	60 (5)
2017/7/17	図書館	西の魔女が死んだ	39 (8)
2017/11/19	センター	舟を編む	57 (3)
2018/7/16	図書館	春との旅	65 (8)
2018/11/18	センター	くちびるに歌を	75 (6)
2019/7/21	図書館	天国からのエール	65 (4)
2019/11/17	センター	僕らのごはんは明日で待ってる	41 (4)

※主催欄の 図書館→岩手県立図書館 センター→岩手県立視聴覚障がい者情報センター
 ※参加人数欄のカッコ内の数値は、内数で障がいをお持ちの方の人数。



4 参加された方の反応や様子

アンケートでは、満足されている様子や継続開催を望む声が、多く寄せられています。はじめは視覚障がい者に向けた「音声ガイド」や、聴覚障がい者に向けた「字幕」に、戸惑いやうるささを感じる方もいるようですが、次第に慣れ、なかには作品の理解に役立ったという声や障がいのない高齢の方にも分かりやすかったという声も寄せられています。また、障がいのある方と健常者が一緒に映画を楽しむ経験が良かったという、開催趣旨に共感する声も寄せられています。

一方、上記のとおり、図書館の普段の映画会では上映が難しい劇場公開作品を鑑賞できるため、比較的若い世代の参加があつたり、県立図書館の映画会に初めて参加される方がいたり、図書館に足を運んでいただくきっかけにもなっています。

~~~~~  
 いかがでしたでしょうか。ご紹介したサポートの仕組みを利用して、バリアフリー映画の上映会を検討してみたいという時は、バリアフリー映画上映サポート事務局にメールを送って、詳しい仕組みや申込みの手順・期限などが記された書類が入った「開催キット」を取り寄せてみてください。

NPO法人シネマ・アクセス・パートナーズ  
 上映サポート事務局  
 メールアドレス：bfsupport@npo-cap.jp



# レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

## Q. 「わんこそば」に似た風習が北陸地方にもあると聞いたけど本当？

〔回答〕

まずはそばに関する本や事典などを確認しました。『そば風土記』には「後ろから客の椀にそばを投げ込む方式は、能登半島にも残っている」とあります。また『蕎麦事典』の「越前そば」の項目には、給仕方法について「東北盛岡方面のわんこそばと似ている」とありました。これらの記述から石川県・福井県に調査範囲を絞り、両県の食文化に関する資料を調査することにしました。

「越前そば」は大根おろしに出汁を加え味を整えたもので、「おろしそば」とも呼ばれるそうです。先述の『蕎麦事典』には「そば振舞いの時には皿が空にならないうちに次々とお替りをつける」と書かれています。また『日本の食生活全集 18 聞き書 福井の食事』の中にも「客の茶わんの中のそばがなくなりかけると、給仕の人がそばをぱっと茶わんの中に入れる」との記述がありました。一方、石川県の食文化においては該当するような事例を見つけることができず、当館の所蔵資料ではこれ以上の詳細な情報は得られないと判断し、石川県立図書館、福井県立図書館にもそれぞれ調査をお願いすることにしました。

### ●石川県立図書館からの回答

石川県白山市白峰地区にはしょうゆであえた大根おろしと油揚げをのせた冷たい「おろしうどん」という郷土料理があり、冠婚葬祭の際にはわんこそばのように次々とお代わりを注いで振る舞う風習がある。そばに関しては似たような風習は見つけれず。

### ●福井県立図書館からの回答

福井県越前町茂原集落には「そば法事」という風習があった。法事の際に弔問客に「おろしそば」を振舞い、器が空になると、給仕の女性が後ろから出汁とそばを何度も注ぎ足していく。現在はほとんど廃れてしまっている。

上記の回答を質問者にお伝えしたところ、「越前そば」「そば法事」に興味を持っていただいたようでした。遠く離れた土地で似たような風習があるのは不思議ですね。それぞれのルーツや違いについてさらに詳しく調べてみたくなるような事例でした。

キーワード：そば 北陸地方 石川県 福井県 食文化

〔調査プロセス〕

1. そばに関する本を調査。
2. 石川県・福井県の食文化に関する本を調査。
3. 石川県立図書館、福井県立図書館に調査依頼。



【当館所蔵の参考文献】※（ ）内は当館請求記号

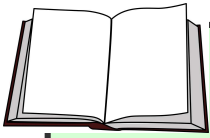
- 1 『そば風土記』植原 路郎/[著] 毎日新聞社 1974 (596.1/ウ 3/4)
- 2 『蕎麦事典』植原 路郎/著 東京堂出版 2002 (596.38 /ウエ)
- 3 『日本の食生活全集 18 聞き書 福井の食事』農山漁村文化協会 1987 (383.8/= 6/1-18)

【石川県立図書館参考文献】

- 1 『北國新聞』2011.11.05 朝刊 p37 「郷土料理のおろしうどんを味わう」
- 2 『北國新聞』2012.11.02 朝刊 p25 「白峰のおろしうどんを提供」

【福井県立図書館参考文献】

- 1 『越前蕎麦物語』福井新聞社 1994
- 2 『越前おろしそば文化』中山重成/著 福井新聞社 2002



## Q. 盛岡藩関連の史料に「畑高」という言葉が出てきた。畑

こくだか (はただか)  
の石高を「畑高」というようだが、畑で米はとれない。どの  
作物の収穫量で「畑高」を決めているのか。

### 〔回答〕

「石高」「石高制」の概要を把握するため、日本史辞典類や「石高制」に関する本を確認しました。それによると、「石高」は、豊臣秀吉の太閤検地以後江戸時代を通じて広く用いられた、米の生産高で示される土地評価単位で、検地により決定され、租税負担決定の基礎となった、とありました。田以外の土地(畑・屋敷)についても、等級・面積に応じて、米に換算した生産高が設定されたとあり、「畑高」は実際に畑でとれる作物の収穫量によるのではなく、畑の土地の等級別に、米に換算した収穫量で設定されたもの、とわかりました。このように、江戸時代はすべての土地が石高で把握され、石高が社会関係の統一的基準になっていました。

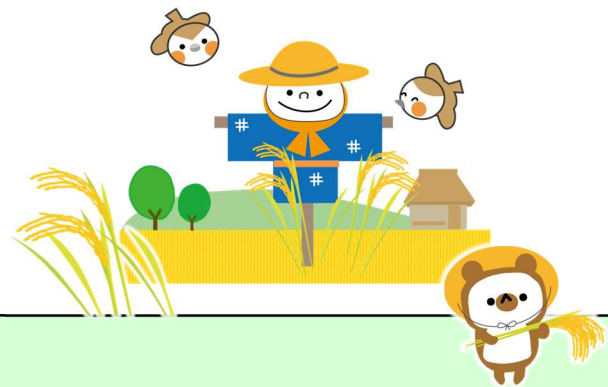
次に盛岡藩ではどのように「畑高」を決めていたのか調べるため、盛岡藩の歴史や検地関係の資料を確認しました。『岩手の古文書』には、検地から年貢率算定、納入までの納税プロセスが具体的に例示されています。田と畑の違いの部分抜粋すると、測量の項に、田:1反=300坪、畑:1反=900坪とあり、面積において、畑は田の3分の1の生産力とされていました。この面積に、斗代(1反当たりの標準生産高)をかけて、石高が算定されます。斗代は、土地の立地条件等の等級別(上、中、下、下々)に定められ、例えば最も条件の良い上田は1石3斗、上畑は9斗でした。上~下々の平均斗代は、田:1石(10斗)、畑:6斗で、畑の斗代は田の10分の6となります。以上の面積・斗代をかけ合わせると、盛岡藩では、畑は田の5分の1程度の生産力として換算されていたことがわかりました。

『近世の飢饉』などによると、盛岡藩全体の石高約10万石のうち、田と畑の比率は、正保4年(1647)時点で、田:約7万2000石(72%)、畑:約2万8000石(28%)でした。他藩と比べると、畑の割合がかなり大きく、当時稲作の北限で米作りには条件が悪かった盛岡藩での、畑作の重要度がうかがえます。『不来方の賦』は、年貢が安く、雑穀・野菜・馬糧等を自給することができた畑は、「自給経済の面では農民生活の大きな支えになっていた」としています。

キーワード：畑高 石高 石高制 検地 租税

### 〔調査プロセス〕

1. 「石高」「石高制」に関する資料を確認
2. 盛岡藩の歴史や検地関係の資料を確認



### 【参考文献】( )内は当館請求記号

1. 『日本史大事典 3』平凡社 1993年(R/210.033/ホ/3) p.242~244「石高制」
2. 『戦国織豊期の貨幣と石高制』本多博之著 吉川弘文館 2006年(337.21/ホ) p.224~228「石高制の萌芽」、p.242~249「石高制の採用」
3. 『太閤検地と石高制』安良城盛昭著 日本放送出版協会 1979年(611.22/ヤ1/1) p.201~215「石高制と年貢」「米・大豆による年貢納入の必然性」
4. 『不来方の賦』大正十三造著 岩手日報社 1988年(K/288/ナ2/4) p.263~265「南部藩の貢租制度」
5. 『盛岡市史 復刻版 第2巻』森嘉兵衛監修 トリョー・コム 1979年(K/211/ト1/2-2) p.137~147「近世初期の見地と村の構造」
6. 『岩手県史 第5巻』岩手県編 杜陵印刷 1963年(K/201/イ3/1-5) p.723~725「年貢の基礎」
7. 『岩手の古文書』岩手県立博物館編 岩手県文化振興事業団 1989年 p.122~124「検地」
8. 『近世の飢饉』菊池勇夫著 吉川弘文館 1997年 p.49~53「東北諸藩の新田開発」「米と大豆」

※このレファレンスの詳細は「レファレンス協同データベース」で公開しています。是非ご覧ください。

「レファレンス協同データベース」<http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>

# 児童コーナー わかば通信



## 赤ちゃん向け おはなし会 よみきかせデビュー

ひとりひとりの赤ちゃんにゆっくり本を楽しんでもらいたい！



そこで、児童コーナーでは、秋と冬に「赤ちゃん向けおはなし会 よみきかせデビュー」を開催しました。

開催日の10時半から12時の間ならいつでも、一家族ごとに読み聞かせをするという催しです。赤ちゃんのペースに合わせて、絵本や手遊び、わらべ歌などを楽しんでもらうことができ、家族のみなさんも笑顔いっぱいでした。

読み聞かせのあとは、絵本の楽しみ方やおすすめの絵本を紹介し、お話会は15分ほどで終了です。



「時間内なら、いつでも参加できます」とポスターに記入しました。



それぞれの赤ちゃんに合わせて読み聞かせをするので、初めてでも安心です

### ある日のプログラム

- 1 手遊び「ごんべさんのあかちゃん」
- 2 絵本『いない いない ばあ』  
松谷 みよ子 // 文 瀬川 康男 // 絵
- 3 絵本『ぞうさん』  
まど みちお // 詩  
にしまき かやこ // 絵
- 4 体遊び「ぎっこんぱっこん」
- 5 絵本『はねはねはねちゃん』  
ながわ りえこ // 文  
やまわき ゆりこ // 絵

絵本や手遊び  
楽しいよ！





# 岩手県内図書館紹介

岩手県内各地の図書館を紹介いたします！



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                         |  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--|
| 図書館名       | 岩手保健医療大学図書館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                         |  |
| 所在地        | 〒020-0045<br>岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 6 番 30 号<br>TEL 019-606-7030(代)<br>FAX 019-606-7031                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                         |  |
| 施設の概況と利用状況 | 開館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成 29 年 4 月 10 日                                                        |  |
|            | 延べ床面積                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 326.80 m <sup>2</sup> (図書館部分)                                           |  |
|            | 構造                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 鉄骨造地上 4 階建(図書館は 1 階部分)                                                  |  |
|            | 蔵書数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 7,229 冊(令和 2 年 2 月末現在)                                                  |  |
|            | 登録者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 273 人〔〔内訳〕 学内者(学生、教職員)：258 人<br>学外者(令和元年度登録者数)：15 人〕<br>(令和 2 年 2 月末現在) |  |
| 利用者数       | 6,007 人(平成 30 年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                         |  |
| 図書館の特徴     | 本学は平成 29 年に開学した新設の看護系単科大学です。主に看護・医療系の資料を所蔵しており、データベースも充実しています。万一、希望資料の所蔵がない場合はお取り寄せ(有料)も可能です。また、盛岡駅西口から徒歩 5 分の好立地にあるため、アクセス抜群なところも魅力の 1 つです。(お車で越しの際は近郊の有料駐車場をご利用ください。)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                         |  |
| 利用案内       | 本学図書館は平成 30 年 7 月より、地域の皆さまにご利用いただけるよう一般開放しております。ご利用の方は図書館カウンターで手続きをお願いします。(高校生以上対象)<br>【開館時間】<br>9：00～17：00<br>【休館日】<br>土曜日、日曜日、祝日、図書等整理日(毎月第 4 火曜日)、開学記念日(5 月 1 日)<br>※詳しくは本学 HP の図書館開館カレンダーをご参照ください。<br>【貸出】<br>貸出ご希望の場合は、利用者カードを作成する必要があります。その際、現住所が確認できる身分証明書のご提示をお願いします。<br>貸出冊数：5 冊 貸出期間：2 週間<br>※貸出は図書のみで、学術雑誌や視聴覚資料は貸出不可です。<br>【複写】<br>著作権法の範囲内で図書館内のコイン式コピー機で複写できます。<br>【所蔵資料の検索方法】<br>CiNii Books( <a href="https://ci.nii.ac.jp/books/">https://ci.nii.ac.jp/books/</a> )で図書館 ID に「FA027576」を入れることにより、本学図書館の所蔵資料を検索することができます。 |                                                                         |  |

# 図書館掲示板

## 第60回 岩手の読書週間

### 読書推進標語・手づくり絵本入賞者、読書推進運動功績者

岩手の読書週間は、2月1日～14日までの“春を待つ、雪解け前の静けさの中で、本に親しもう”というスローガンのもと、岩手県独自の読書週間として昭和35年に設定されました。この期間中は読書週間を全県的に展開し、読書普及活動をおこなっています。

読書週間期間中の主催行事として、令和元年度「岩手県読書をすすめるつどい」が2月1日（土）にアイーナで開催され、読書推進標語と手づくり絵本の入賞者や読書推進運動功績者の表彰が行われました。読書推進標語の応募点数は762点、手づくり絵本は86点の応募があり、また、読書推進運動功績者としては7団体が表彰されました。

手づくり絵本の応募作品は2月1日～2月9日まで県立図書館で開催した「第40回手づくり絵本展」で展示した後、一部作品を除き県内の図書館等で巡回展示が行われています。

最優秀賞、優秀賞は次の方々です。（敬称略）

#### 1 読書推進標語入賞者

---

**最優秀賞** 『ママが読む しあわせランプ 火がとる』  
梅田 理紗（奥州市立羽田小学校2年）

**優秀賞** 『ワクワクを いっぱいくれる 本が好き』  
高橋 紬（滝沢市立滝沢第二小学校3年）

『ネットでは 感じられない 本のおい』  
佐藤 南海（奥州市立姉体小学校6年）

## 2 手づくり絵本入賞者

### <子どもの部>

**最優秀賞** 『チックとタックのチクタクどけい』  
小野寺 美優（奥州市立水沢中学校3年）

**優秀賞** 『カイロスの大ぼうけん』  
東山 蒼志（二戸市立仁左平小学校3年）  
『友のぼうけんシリーズ06 銅色の海底王国』  
長谷川 友信（北上市立黒沢尻西小学校5年）  
『きらい きらい だいきらい』  
佐藤 聖華（奥州市立水沢中学校2年）



### <一般の部>

**最優秀賞** 『ときょうそう てきょうそう』  
佐藤 洋子（二戸市）

**優秀賞** 『えぼし岩の川下り』  
中尾 美知子（盛岡市）  
『ダン・キン・キキのぼうけん』  
千田 成子（一関市）  
『いくべー』  
中津山 民恵（一関市）



### <わかばの部>

**最優秀賞** 『5さいのまほうのドア』  
川村 咲乃・川村 淳平（久慈市）

**優秀賞** 『たべるのだからいすき』  
明石 佳穂・明石 華梨（葛巻町）  
『とことことこ こんにちは』  
畠山 真緒・畠山 美幸（一戸町）



### 3 読書推進運動功績者

---

■おはなしの雫（雫石町） 代表 中村 英俊

平成 16 年に有志を募り結成。町立図書館でのおはなし会を中心に活動するほか、ブックスタート事業での幼児への読み聞かせや町内小中学校での読み聞かせ等、多様な年齢層や町内外で読書推進に多大な貢献をしている。

■母子草（花巻市） 代表 佐藤 三恵子

平成 26 年に結成し、母と娘の 2 人で構成している団体である。幼児期からの読み聞かせをより多くの児童と保護者に体験させたいという思いから、市内図書館での読み聞かせボランティアとして活動するほか、市内小学校での読み聞かせ等、読書推進に多大な貢献をしている。

■読書ボランティア「てんとう虫」（西和賀町） 代表 志賀久 満喜子

平成 23 年に西和賀町沢内地区の 4 小学校が西和賀町立沢内小学校に統合されたことを機に結成。町内小学校や保育所での読み聞かせを行うほか、町内老人福祉施設での大型紙芝居の披露をするなど、子育て支援や高齢者支援の活動に力を入れており、読書推進に多大な貢献をしている。

■けやきの会（奥州市） 代表 及川 典子

平成 4 年に図書館や福祉事務所に勤務経験のある市職員が声をかけ発足。市内図書館での親子を対象とした読み聞かせ「お話びっくり箱」や地域内の小中学校での読み聞かせのほか、中高生への読み聞かせ指導・実演等も行っており、読書推進に多大な貢献をしている。

■お話の会「たろうアンドはなこ」（平泉町） 代表 千葉 節子

平成 16 年に有志により結成。町内図書館、小学校を中心に大型絵本、紙芝居、飛び出す絵本、音楽を利用した「歌と一緒に話し会」、「マリオネットと楽しむ話し会」など工夫溢れる演目を行っており、読書推進に多大な貢献をしている。

■図書館ボランティア「クローバー」（岩泉町） 代表 佐々木 由香利

平成 22 年に町立図書館を利用している児童・生徒の保護者を中心とする有志が集まり結成。町立図書館での本の修理を継続的に行っているほか、町立図書館での絵本の読み聞かせもしており、読書推進に多大な貢献をしている。

■デイジー岩手（視聴覚障がい者情報センター） 代表 下川原 幸子

平成 11 年に、デジタル録音図書編集奉仕員の養成修了者たちにより結成。デジタル録音図書編集を継続的に行い、県内外の視覚障がい者に多く利用されている。障がい者の読書環境の充実を図り、読書推進に多大な貢献をしている。

岩手県立図書館報

としよかん いわて

No. 186

発行日 令和2年3月31

編集・発行 岩手県立図書館